

平成 29 年別府市観光動態要覧

別府市観光戦略部

観光課

平成 29 年別府市観光動態要覧発表にあたって

本要覧は、平成 29 年1月から平成 29 年 12 月までに別府市を訪れた観光客の動態を調査し、観光客数の推移や消費額等についてまとめたものです。

別府市の観光客数は、観光庁によって策定された「観光入込客統計に関する共通基準」に準じた集計方法により、算出しています。宿泊客数は別府市入湯税の申告データにより、算出しています。

この要覧により、別府市観光の現状を御理解いただき、今後の観光事業推進の参考として活用していただければ幸いです。

別府市は、今後も関係機関と協議を続け、調査・集計方法について都度見直しや改善を図ってまいります。実態を反映した精度の高いデータを充実させることにより、これまで以上に活用できる観光動態要覧の作成に努めていきたいと考えています。

資料提供等いただきました関係各位の御厚意に深く感謝の意を表しますとともに、今後とも御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 10 月

別府市観光戦略部 観光課

目 次

資料提供機関.....	1
別府市の観光客数等の算出方法.....	1
I 平成 29 年観光動態調査結果.....	3
1. 調査結果の概要.....	4
2. 四半期別観光客数.....	5
3. 外国人観光客数.....	7
4. 宿泊客数動向.....	9
5. 観光消費額.....	10
II 施設別集計資料.....	11
1. 市営温泉の入浴者数.....	12
2. 主要観光施設の入込客数.....	13
III 参 考 資 料.....	14
有料宿泊施設調べ（平成 29 年 3 月末現在）.....	15
市有温泉数調べ（平成 29 年 12 月末現在）.....	15
別府温泉の状況（平成 29 年 3 月末現在）.....	15
平成 29 年別府市のイベント開催状況.....	16
別府市民憲章（昭和 43 年 1 月制定）.....	18
別府の市花と市木.....	18
別府市の変遷.....	18

資料提供機関

1. 官公庁

国土交通省観光庁	大分県観光・地域振興課
大分県東部保健所	別府市観光戦略部温泉課
別府市経済産業部公営競技事務所	別府市総務部市民税課
大分県国際観光船誘致促進協議会	

2. 団体・施設

(一社)別府市観光協会	別府市旅館ホテル組合連合会	別府市外国人旅行者統計研究会
(一社)別府インターナショナルプラザ	スギノイパレス	アクアビート
別府地獄組合	高崎山自然動物園	別府ラクテンチ
うみたまご	別府ロープウェイ	アフリカンサファリ
ハーモニーランド	別府リンゴ園	城島高原パーク
ビーコンプラザ	グローバルタワー	大分香りの博物館
ひょうたん温泉	別府湾サービスエリア	潮彩屋
みょうばん湯の里	べっぷアリーナ	志高湖野営場
神楽女湖菖蒲園	別府市美術館	別府市竹細工伝統産業会館
市営温泉	別府競輪場	地獄蒸し工房鉄輪
城島高原ゴルフクラブ	別府扇山ゴルフ倶楽部	別府の森ゴルフ倶楽部

(順不同)

別府市の観光客数等の算出方法

1. 総観光客数の算出方法

観光庁により策定された「観光入込客統計に関する共通基準」に該当する観光地点への観光入込客数の延人数(観光地点の観光客数の調査集計)を用いて、総観光客数を算出

2. 宿泊客数の算出方法

別府市入湯税の申告データより算出(入湯税の課税対象とならない施設の宿泊客数は計上されていない)

別府市税条例

第 141 条 入湯税は、鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課する

- 前項の鉱泉浴場とは、温泉法(昭和 23 年法律第 125 号)第 2 条に規定する温泉及び同法の温泉に類するもので鉱泉と認められるものを利用する旅館、料理屋、入湯貸間、寮、保養所等及びこれらに類似した行為を行う場所の浴場をいう

3. 日帰り客数の算出方法

総観光客数から宿泊客数を差引くことにより、日帰り客数を算出

$$\text{総観光客数} - \text{宿泊客数} = \text{日帰り客数}$$

4. 主要観光施設の入込客数の算出方法

別府市周辺の20観光施設(13ページ表2-1)の入込客数を合計して算出

5. 外国人観光客数の算出方法

「別府市外国人旅行者統計研究会」「(一社)別府インターナショナルプラザ」「大分県国際観光船誘致促進協議会」等の提供資料をもとに算出

6. 観光消費額の算出方法

観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」の大分県観光消費額単価(速報値:国内・外国人別、宿泊・日帰り別)に客数(国内・外国人別、宿泊・日帰り別)を乗じて算出

$$\text{大分県観光消費額単価} \times \text{客数} = \text{観光消費額}$$

I 平成 29 年観光動態調査結果

平成 29 年(平成 29 年 1 月～平成 29 年 12 月)

別府市観光動態調査結果

1. 調査結果の概要

平成 29 年の別府市における総観光客数は、8,806,878 人となった。その内訳は下記のとおりである。

総観光客数	8,806,878 人	前年比 10.9%増 (862,857 人増)
日帰り客数	6,262,548 人	前年比 11.9%増 (667,111 人増)
宿泊客数	2,544,330 人	前年比 8.3%増 (195,746 人増)

① 発地別宿泊客割合 県外客比率 85.7% (単位 :%)

北海道 ・東北	関東	中部	近畿	中四国	福岡県	大分県	その他 九州	韓国	その他 外国	合計
1.1	11.2	2.8	6.7	8.4	22.7	14.3	13.6	11.6	7.5	100.0

注) 割合は小数点以下第二位を四捨五入しており、合計が 100 にならない場合がある

② 主要観光施設の入込客数は 4,617,039 人で、前年比 11.5%増(474,777 人増)。

③ 外国人観光客数は 597,446 人で、前年比 33.5%増 (150,034 人増)。

外国人観光客数上位 5 カ国は、以下の通りである。

1 韓国	329,680 人
2 台湾	89,664 人
3 香港	62,598 人
4 中国	50,447 人
5 タイ	18,778 人

外国人観光客数は前年比 33.5%増加し、うち宿泊客数は同 42.8%増加した。熊本地震の影響で落ち込んだ前年からの反動増が見られた。また、大分—ソウル間を結ぶティーウェイ航空が 2017 年 5 月より毎日運航となったことから韓国人観光客数が同 54.5%増加し、外国人観光客数の伸びを牽引した。

2. 四半期別観光客数

平成 29 年 1 月～3 月の観光客数は前年同期と比べやや減少したが、平成 29 年 4 月～6 月は熊本地震(平成 28 年 4 月発生)で落ち込んだ前年同期と比べ 51.2%増と大幅に増加した。7 月以降は天候不順が続いたものの、外国人観光客が全体を牽引し、観光客数は堅調に推移した。

【表 2-1 平成 29 年 四半期別観光客数 (1)】

(単位:人、%)

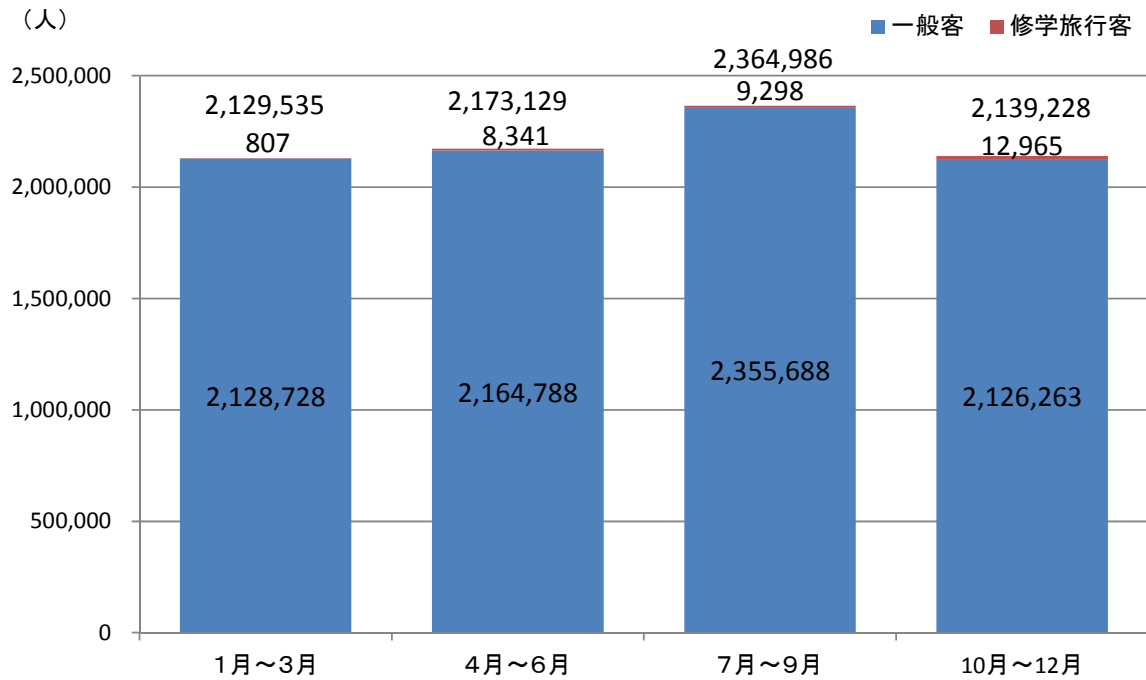
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	計
一般客	2,128,728	2,164,788	2,355,688	2,126,263	8,775,467
修学旅行客	807	8,341	9,298	12,965	31,411
合計	2,129,535	2,173,129	2,364,986	2,139,228	8,806,878
前年	2,149,035	1,437,700	2,257,976	2,099,310	7,944,021
前年比	▲ 0.9	+ 51.2	+ 4.7	+ 1.9	+ 10.9

【表 2-2 平成 29 年 四半期別観光客数 (2)】

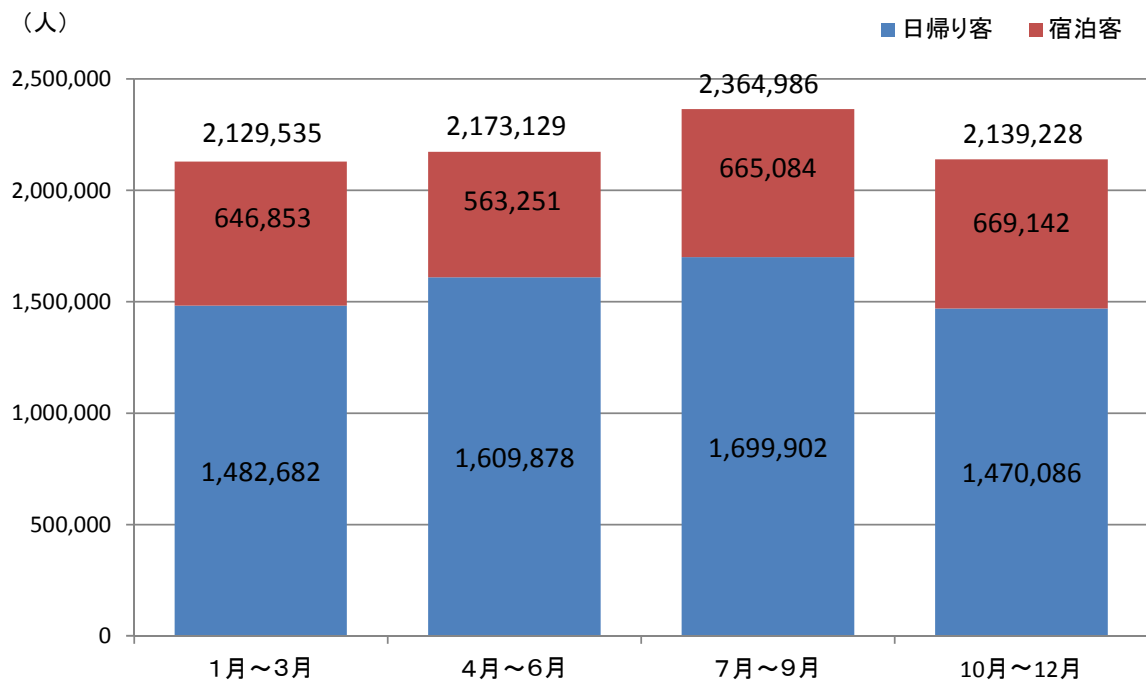
(単位:人、%)

		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	計
日帰り客	一般客	1,482,024	1,603,076	1,692,616	1,460,503	6,238,219
	修学旅行	658	6,802	7,286	9,583	24,329
	合計	1,482,682	1,609,878	1,699,902	1,470,086	6,262,548
	前年	1,493,273	1,035,280	1,604,376	1,462,508	5,595,437
	前年比	▲ 0.7	+ 55.5	+ 6.0	+ 0.5	+ 11.9
宿泊客	一般客	646,704	561,712	663,072	665,760	2,537,248
	修学旅行	149	1,539	2,012	3,382	7,082
	合計	646,853	563,251	665,084	669,142	2,544,330
	前年	655,762	402,420	653,600	636,802	2,348,584
	前年比	▲ 1.4	+ 40.0	+ 1.8	+ 5.1	+ 8.3

【図 2-1 平成 29 年 四半期別観光客数 (1)】



【図 2-2 平成 29 年 四半期別観光客数 (2)】



3. 外国人観光客数

外国人観光客は、597,446人で前年比33.5%増加した。国別では、韓国が55.2%を占め最も多く、次いで台湾(構成比15.0%)、香港(同10.5%)、中国(同8.4%)、タイ(同3.1%)となっており、アジア地域で全体の95.1%を占めた。

そのうち、宿泊客数は486,037人で、前年比42.8%増加した。国別では、韓国が60.9%を占め最も多く、次いで台湾(構成比15.5%)、香港(同9.8%)、中国(同5.4%)、タイ(同2.7%)となっている。

【表3-1 国籍別外国人観光客数】

(単位:人、%)

地 域	国 名	平成29年 観光客数			平成28年 観光客数			前年比 (観光客数)
		日帰客数	宿泊客数		日帰客数	宿泊客数		
アジア	韓 国	329,680	33,731	295,949	213,436	23,111	190,325	+ 54.5
	台 湾	89,664	14,092	75,572	69,749	12,726	57,023	+ 28.6
	香 港	62,598	15,178	47,420	51,159	18,382	32,777	+ 22.4
	中 国	50,447	24,394	26,053	46,993	23,326	23,667	+ 7.4
	タ イ	18,778	5,666	13,112	22,779	9,374	13,405	▲ 17.6
	シンガポール	7,707	1,841	5,866	6,190	1,415	4,775	+ 24.5
	マレーシア	2,310	491	1,819	2,122	494	1,628	+ 8.9
	インドネシア	2,000	515	1,485	1,310	507	803	+ 52.7
	フィリピン	1,242	701	541	814	585	229	+ 52.6
	イ ン ド	373	217	156	321	219	102	+ 16.2
	その他アジア	3,177	906	2,271	2,198	1,015	1,183	+ 44.5
計		567,976	97,732	470,244	417,071	91,154	325,917	+ 36.2
北米	ア メ リ カ	5,129	2,495	2,634	4,597	2,144	2,453	+ 11.6
	カ ナ ダ	1,593	922	671	1,238	876	362	+ 28.7
	計	6,722	3,417	3,305	5,835	3,020	2,815	+ 15.2
欧州	フ ラ ン ス	2,696	1,951	745	2,416	1,887	529	+ 11.6
	ド イ ツ	2,220	1,711	509	1,978	1,462	516	+ 12.2
	イ ギ リ ス	1,309	889	420	1,777	1,462	315	▲ 26.3
	ロ シ ア	256	174	82	1,098	271	827	▲ 76.7
	ス ペ イン	629	494	135	865	714	151	▲ 27.3
	イ タ リ ア	693	514	179	815	595	220	▲ 15.0
豪州	オーストラリア	2,375	1,094	1,281	2,190	1,518	672	+ 8.4
その他		12,570	3,433	9,137	13,367	4,998	8,369	▲ 6.0
合 計		597,446	111,409	486,037	447,412	107,081	340,331	+ 33.5

資料)別府市外国人旅行者統計研究会、(一社)別府インターナショナルプラザ、大分県国際観光船誘致促進協議会

【表 3-2 外国人観光客数ベスト 10 (平成 29 年)】

(単位:人、%)

順位	国名	観光客数	構成比
1	韓 国	329,680	55.2
2	台 湾	89,664	15.0
3	香 港	62,598	10.5
4	中 国	50,447	8.4
5	タ イ	18,778	3.1
6	シンガポール	7,707	1.3
7	ア メ リ カ	5,129	0.9
8	フ ラ ン ス	2,696	0.5
9	オーストラリア	2,375	0.4
10	マレーシア	2,310	0.4

【表 3-3 外国人宿泊客数ベスト 10 (平成 29 年)】

(単位:人、%)

順位	国名	観光客数	構成比
1	韓 国	295,949	60.9
2	台 湾	75,572	15.5
3	香 港	47,420	9.8
4	中 国	26,053	5.4
5	タ イ	13,112	2.7
6	シンガポール	5,866	1.2
7	ア メ リ カ	2,634	0.5
8	マレーシア	1,819	0.4
9	インドネシア	1,485	0.3
10	オーストラリア	1,281	0.3

4. 宿泊客数動向

平成29年の宿泊客数は2,544,330人で、前年比8.3%増と2年ぶりに増加した。熊本地震の影響で減少した昨年からの反動増となった。国内外別にみると、日本人宿泊客数が同2.5%増の2,058,293人、外国人宿泊客数が同42.8%増の486,037人となった(7ページ参照)。この結果、外国人宿泊客の占める割合は前年の14.5%から19.1%へと上昇した。

また、地域別にみると、全ての地域で宿泊客数は増加した。なかでも震災の影響で昨年の落ち込みが大きかった「鉄輪・明礬地域」において反動増がみられた。

【表4-1 年別宿泊客数推移】

(単位:人)

年	宿泊客数
平成24年	2,326,535
平成25年	2,356,276
平成26年	2,416,380
平成27年	2,557,949
平成28年	2,348,584
平成29年	2,544,330

【表4-2 地域別宿泊客数】

(単位:人、%)

地域 内訳	北浜・中央地域	鉄輪・明礬地域	堀田・観海寺地域	その他地域	合計
宿泊客数	1,047,582	433,085	948,821	114,842	2,544,330
構成比	41.2	17.0	37.3	4.5	100.0
前年宿泊客	1,020,040	347,410	879,826	101,308	2,348,584
前年比	+ 2.7	+ 24.7	+ 7.8	+ 13.4	+ 8.3



5. 観光消費額

※1人当たりの消費額は日本人観光客および外国人観光客ともに観光庁作成による「共通基準による観光客統計」の大分県の数値を活用しており、平成29年の数値は速報値を使用しています。

【表 5-1 日本人観光客消費額】

	客数(人)	1人当たりの消費額(円)	消費額(千円)
宿泊客	2,058,293	24,446	50,317,031
日帰り客	6,151,139	5,166	31,776,784
合計	8,209,432		82,093,815

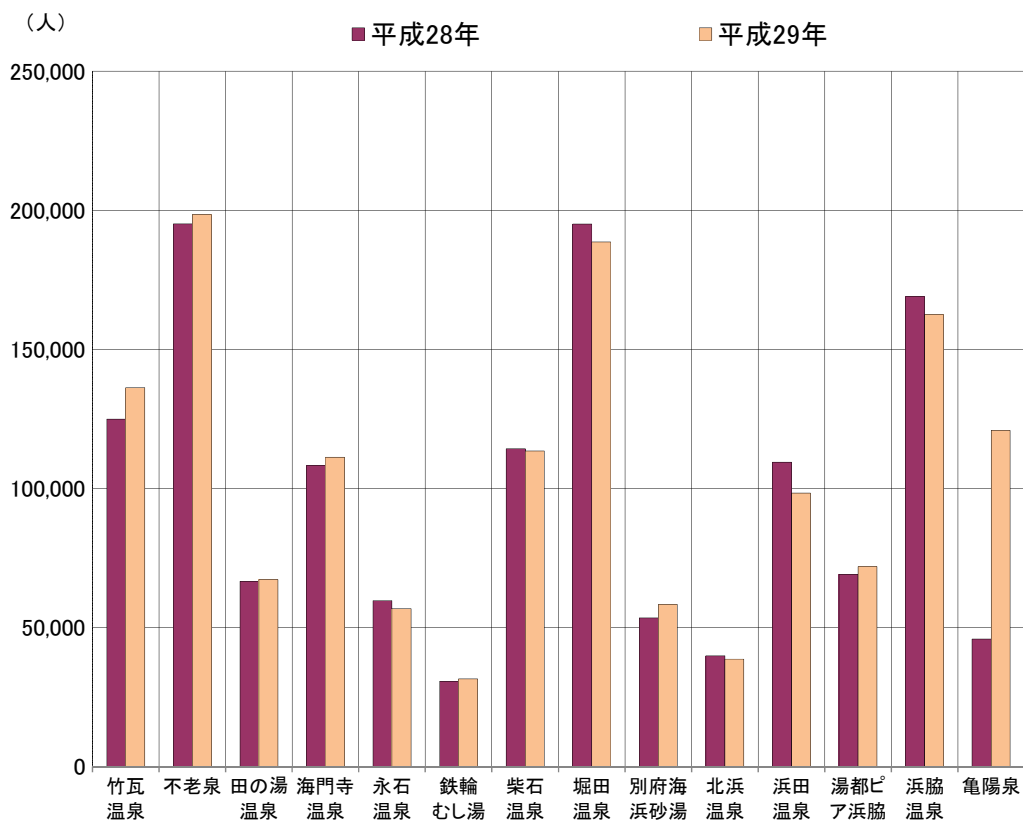
【表 5-2 外国人観光客消費額】

	客数(人)	1人当たりの消費額(円)	消費額(千円)
宿泊客	486,037	13,852	6,732,585
日帰り客	111,409	3,371	375,560
合計	597,446		7,108,144

II 施設別集計資料

1. 市営温泉の入浴者数

【図 1-1 市営温泉施設年別入浴者数（無料入浴者を含む）】



【表 1-1 市営温泉施設年別入浴者数（無料入浴者を含む）】

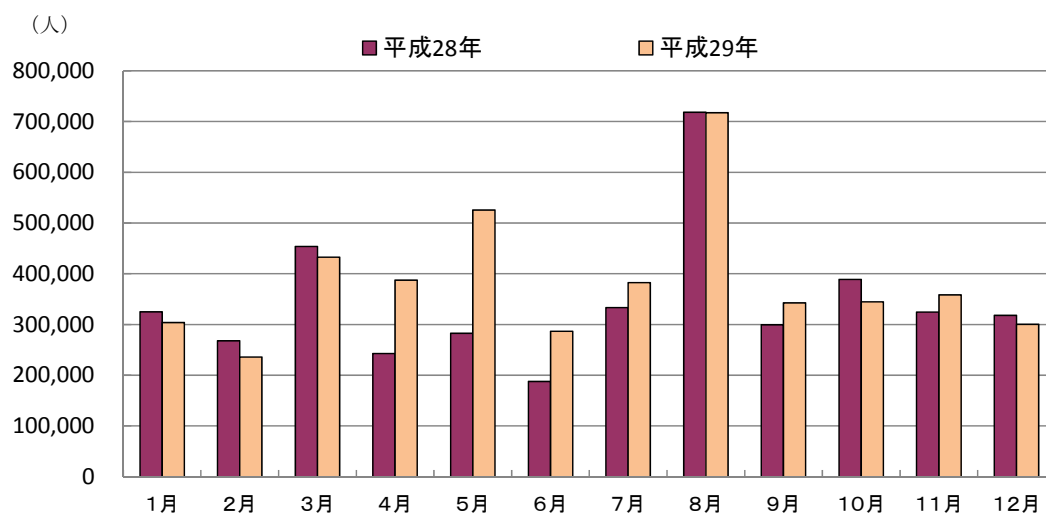
(単位:人)

	竹瓦温泉	不老泉	田の湯温泉	海門寺温泉	永石温泉	鉄輪むし湯	柴石温泉	堀田温泉	別府海浜砂湯	北浜温泉	浜田温泉	湯都ピア浜脇	浜脇温泉	亀陽泉	合計
平成28年	124,997	195,204	66,606	108,263	59,716	30,714	114,249	195,092	53,506	39,872	109,478	69,104	168,930	45,907	1,381,638
平成29年	136,226	198,499	67,267	111,224	56,833	31,530	113,498	188,596	58,308	38,677	98,312	71,866	162,541	120,878	1,454,255

注) 常駐者がおらず入浴者数が把握できていない市営温泉(2施設)を除く
 竹瓦温泉は砂湯の入浴者数を含む
 亀陽泉は平成28年7月末に市営温泉となったため、それ以前の入浴者数については把握していない
 資料) 別府市観光戦略部温泉課

2. 主要観光施設の入込客数

【図 2-1 月別主要観光施設入込客数推移】



【表 2-1 月別主要観光施設入込客数推移】

(単位:人、%)

月	区分	平成28年	平成29年	前年比
1月		324,881	303,654	▲ 6.5
2月		267,976	235,743	▲ 12.0
3月		453,917	432,639	▲ 4.7
4月		243,011	387,257	+ 59.4
5月		282,670	525,752	+ 86.0
6月		187,515	286,676	+ 52.9
7月		333,396	382,564	+ 14.7
8月		718,212	717,192	▲ 0.1
9月		299,236	342,527	+ 14.5
10月		388,783	344,425	▲ 11.4
11月		324,389	358,353	+ 10.5
12月		318,276	300,257	▲ 5.7
計		4,142,262	4,617,039	+ 11.5
主要観光施設名	城島高原パーク・アフリカンサファリ・別府地獄組合・ハーモニーランド・別府ロープウェイ・竹細工伝統産業会館・別府リンゴ園・別府市美術館・スギノイパレス・高崎山自然動物園・うみたまご・関の江海水浴場・志高湖野営場・アクアビート・グローバルタワー・ビーコンプラザ・大分香りの博物館・神楽女湖菖蒲園・別府ラクテンチ・地獄蒸し工房鉄輪			

III 参 考 资 料

有料宿泊施設調べ(平成 29 年 3 月末現在)

【表Ⅲ-1 有料宿泊施設数】

(単位:軒)

宿泊施設	施設数
ホテル	34
旅館	219
簡易宿所	15
下宿	1
合 計	269

資料)平成29年度大分県東部保健所報

市有温泉数調べ(平成 29 年 12 月末現在)

【表Ⅲ-2 市有温泉数】

区 分	普通浴場	むし湯	砂 湯	多目的温泉	計
市有市営温泉	13	1	1	2	17
市有区営温泉	70				70
市有賃貸温泉	0	0	0	0	0
計	83	1	1	2	87

注) 多目的温泉:湯都ピア浜脇、北浜温泉(テルマス)

市有市営温泉(普通浴場)、市有区営温泉の温泉数はそれぞれ休業中1箇所を含む数

資料)別府市観光戦略部温泉課

別府温泉の状況(平成 29 年 3 月末現在)

源泉数	2,292(孔)
1 分間の湧出量	87,636(ℓ/分)
泉質	単純温泉・塩化物泉・炭酸水素塩泉・硫酸塩泉・含鉄泉・酸性泉・硫黄泉(全 10 種類中 7 種類の温泉が湧出)

資料)平成 29 年度大分県東部保健所報

平成 29 年 別府市のイベント開催状況

【表Ⅲ-3 平成 29 年 別府市のイベント開催状況】

実施日	イベント名	場 所	内 容	参加者・観客数
3月31日 ～4月3日	別 府 八 湯 温 泉 ま つ り	別府駅前通りほか	別府八湯の豊かな温泉の恵みに感謝する祭り。湯かけ神輿や扇山火まつりなどのイベントが開催される。また、市営温泉が無料開放される。	約160,000人
4月9日	べっぶ鶴見岳一 気 登 山 大 会	S P A ビ ー チ か ら 鶴 見 岳	SPAビーチから鶴見岳山頂までの約12kmを幹線自動車道を一切通らずに踏破する日本唯一のコース。	3,171人
5月14日	由 布 岳 山 開 き 祭	由 布 岳	夏山シーズンの幕開けを告げる催し。登山客の安全祈願祭を実施し、記念品や豚汁の無料配布も行われる。	約4,000人
6月17日	神 楽 女 湖 花 しょうぶ観賞会	神 楽 女 湖	奥別府の神楽女湖畔に植栽している約80種類1万5000株の花しょうぶの観賞会。演奏会も開かれる。観賞期間は例年6月中旬～7月上旬。	観賞期間中の観賞客 28,684人
7月17日	関 の 江 海 水 浴 場 開 き	関 の 江 海 水 浴 場	関の江海水浴場開きを行い、利用者の安全を祈願する。海水浴場開設期間は7月17日(月)～8月12日(土)。※平成29年は台風の影響により4日(金)で閉鎖	開設期間中の来場者 3,103人
7月28日 ～30日	べ っ ぶ 火 の 海 ま つ り	S P A ビ ー チ、 別 府 駅 前 通 り	別府の夏の風物詩である納涼花火大会は、県内最大級の大玉100連発など、合計8,000発の花火が打ち上げられる。観光客と住民が一緒になって踊る納涼音頭大会も盛大に開催される。	約230,000人
7月29日 ～31日	湯 ～ 園 地	別府ラクテンチ	温泉水と遊園地を掛け合わせた夢の世界を描いた「湯～園地」動画から派生したイベント。実現公約の100万回再生達成後、資金調達から企画運営まで市民を巻き込んでゴールへ突き進んだ結果、大成功で幕を閉じた。	9,165人
8月5日	亀川夏まつり	亀 川 漁 港	200年の伝統を持つ口説きと太鼓に合わせて踊る地踊りが披露され、花火大会も行われる。	約35,000人
8月19日	志 高 湖 夏 ま つ り	志 高 湖	志高湖の「竜神伝説」に由来したまつり。生バンド・源流太鼓の演奏のほか、約300本の松明と打上花火が夏の夜の湖を幻想的に照らす。	約4,000人
8月25日 ～27日	浜 脇 薬 師 祭	浜 脇 地 区	浜脇温泉の恵みに感謝し、安置されている薬師如来の法要を行う祭り。商店街等に風流見立て細工が飾られ、花魁道中も行われる。	約13,500人

実施日	イベント名	場 所	内 容	参加者・観客数
9月21日 ～23日	鉄輪湯あみ祭	鉄 輪 温 泉	鉄輪温泉を開いた一遍上人に感謝する祭り。一遍上人の座像を洗い清める。その他、稚児行列や奉納踊り、子供相撲等も行われる。	約1,800人
10月8日	別府湯けむり健康マラソン大会	奥 別 府 (志高湖・神楽女湖周辺)	体力づくりとふれあいを目的に、思いのままに奥別府の大自然を満喫しながら、ランニングを楽しむ大会。	3,579人
11月4日 ～5日	BEPPUダンスフェスタ2017	別 府 公 園	別府の秋の一大イベント。踊りと交流をテーマに別府観光の活性化と地域を越えた交流を目的とするダンスフェスティバル。	3イベント計 約80,000人
11月4日 ～5日	九州食の大宴会 @ 別府	別 府 公 園	別府市をはじめ、九州各地の郷土料理が味わえる「食」をテーマにしたイベント。	
11月4日	千 灯 明	別 府 公 園	千灯・万灯の灯りを別府市の中心部である、別府公園に灯すイベント。別府市内の園児や小学生を含む別府市内のボランティア団体が中心となって灯明を灯す。	
11月25日 ～26日	別 府 ONSEN ア カ デ ミ ア	ビーコンプラザ	世界の温泉地での温泉の利活用に関する講演、国内の温泉地の現状と課題について議論する全体会を開催。その他、別府市内で温泉の保護や利活用に関する取り組みを分科会で紹介。	約1,000人
12月23日 ～24日	べっぶクリスマス H A N A B I ファンタジア	S P A ビ ー チ	クリスマスソングにあわせて花火を打ち上げる九州創作花火の競演会やクリスマスソングを1,000人の子供たちと歌う会など音楽と花火をシンクロさせた空間が幻想的なクリスマスの夜を演出する。	約150,000人

別府市民憲章(昭和43年1月制定)

わたしたちは、海と山にかこまれた美しい自然と、昼夜の別なくこんこんと湧きいづる温泉のまちに住む市民であることを誇りとし、魅力あふれる観光のまちづくりを目指しています。

わたしたちの市民憲章は次のとおりです。

1. 美しい町をつくりましょう。
2. 温泉を大切にしましょう。
3. お客様をあたたかく迎えましょう。

別府の市花と市木

市花

オオムラサキ (ツツジ科)

常緑低木。市内の街路や公園に多く植栽され、4月下旬から5月中旬の開花時期には赤紫色の大きな花を咲かせる。

市木

キンモクセイ (モクセイ科) 庭園緑化木

秋には黄金色の小花を咲かせ、芳香がある。別府の土壤に適しており、庭園などの緑化用として選定された。

クスノキ (クスノキ科) 公共緑化木

樹形雄大で風格があり、樹齢も長い。別府の土壤に適しており、公園などの緑化用として選定された。

別府市の変遷

大正13年4月	市制施行。
昭和10年9月	石垣村・朝日村・亀川町等を別府市に合併する。
昭和25年7月	別府国際観光温泉文化都市建設法制定。
昭和60年4月	市庁舎が現在地に移転。